

天然木突板の高級内装材の開発

Tokushima Prefectural Industrial Technology Center

岡部興業株式会社 岡部 有佳
工業技術センター 生活科学担当 室内 聡子

1. 研究目的

天然木を0.2mm程度に薄く削いだ突板（つきいた）を活用し、アクリル板と組み合わせた高級建築や商業施設向けの既存にない高級内装材の開発を行った。

2. 研究内容

突板のパターン案を複数作成した（図1）。採光を考慮し樹脂の中で透明度の高いアクリル板を基材としてアクリル樹脂エマルジョン系の接着剤を用い、パターンを施した突板を接着した。

用途の一例として、スライドドアを試作し設置した（図2）。繊細な突板の模様を通して向こう側が見え、透明感、開放感のある空間となった。

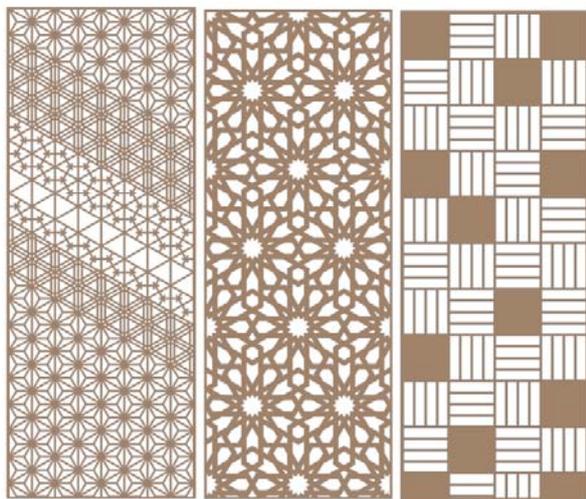


図1. 突板のパターン案



図2. 試作品（スライドドア）

3. 研究成果

新しい高級内装材を開発し、スライドドアを試作した。接着においてさらなる改良が必要であるものの、インテリアにおいてパーテーションや壁面、ドア、窓、照明器具や家具など様々な製品への用途が考えられる。